報告事項２
資料６－１

脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

・　香取海匝地域では、平成３０年度から「脳卒中連携ネットワーク」をテーマに、当該疾病に係る医療機関が抱える課題解消に向けた取組を行っている。
　「脳卒中連携ネットワーク全体イメージ図」（資料6−２）で示したもののうち、

- 「血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法実績」
- 「脳卒中予後データ」

について、令和４年度分データを報告する。

①　血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績（資料6 －3 ）

- 旭中央病院提供データを基に事務局にて作成。
- 脳梗塞による旭中央病院の入院患者数については、過去５年間では４００～５００人／年で概ね横ばい。
- 血栓溶解療法（t-PA）施行実績の、脳梗塞患者数に対する実施割合は緩やかな増加傾向。
- 血栓回収療法施行実績については、患者数及び割合ともに増加傾向。
（血栓回収療法の適応時間の延長により、さらなる増加を期待）

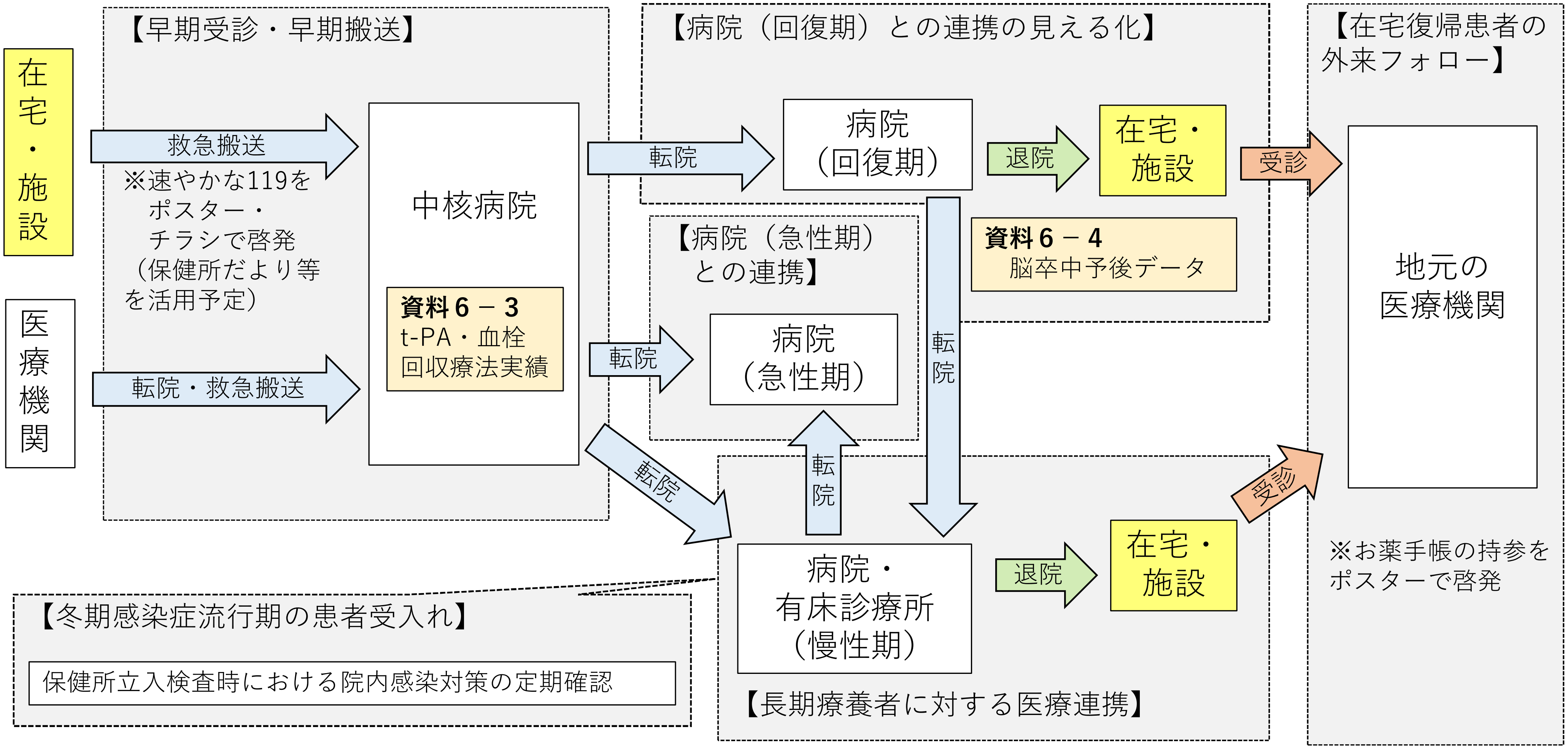
②　脳卒中予後データ（資料6 －4 ）

- 令和４年度における旭中央病院・イムス佐原リハビリテーション病院の退院患者データを基に事務局にて作成。
- 脳卒中予後について、在宅復帰率及び死亡率は昨年度と比較して大きな変化は認められなかった。
- 回復期リハビリ終了後の予後について、病院の割合が減り、施設の割合が増えた。

各治療の施行実績は全体的に増加傾向にあることから、今後も脳卒中予後の改善に向けて情報共有を図っていくこととしたい。

脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

脳卒中連携ネットワーク　全体イメージ



血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績

○ 旭中央病院脳梗塞入院患者数人）

		H30	R1	R2	R3	R4
合計		439	525	496	510	441
圏域内	海匝管内	257	312	289	301	241
	香取管内	88	103	110	109	112
圏域外		94	110	97	100	88

○ 血栓溶解療法（t-PA）施行実績

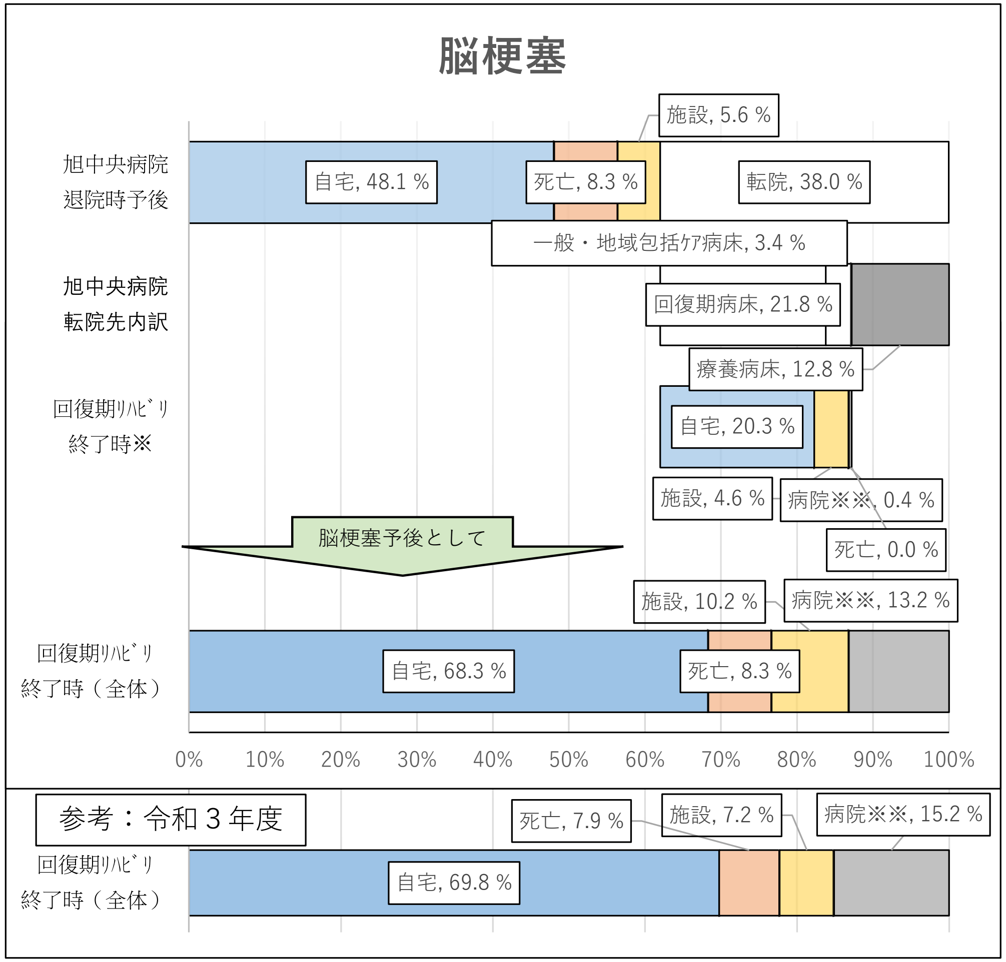
			H30	R1	R2	R3	R4
患者数（人）	合計		25	27	28	32	27
	圏域内	海匝管内	14	16	11	18	16
		香取管内	5	6	9	5	7
	圏域外		6	5	8	9	4
割合（%）	合計		5.7	5.1	5.6	6.3	6.1
	圏域内	海匝管内	5.4	5.1	3.8	6.0	6.6
		香取管内	5.7	5.8	8.2	4.6	6.3
	圏域外		6.4	4.5	8.2	9.0	4.5

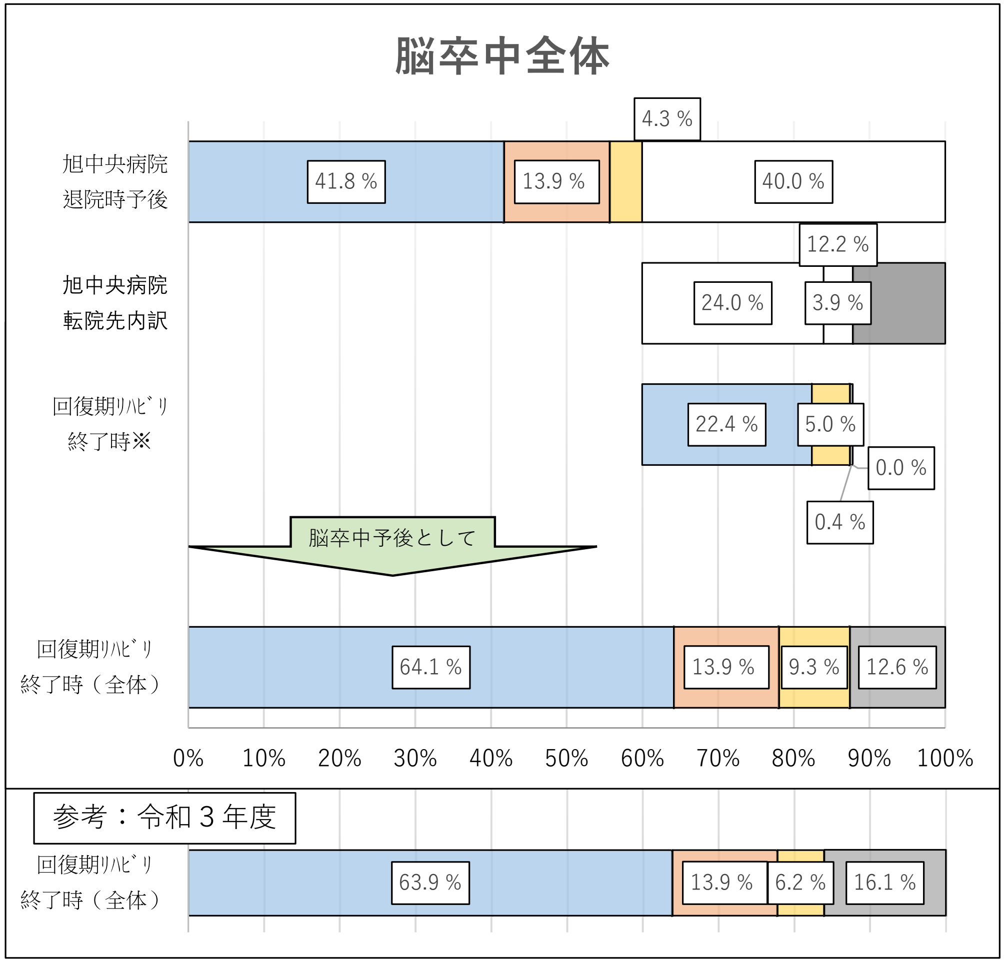
○ 血栓回収療法施行実績

			H30	R1	R2	R3	R4
患者数（人）	合計		10 (7)	23 (4)	26 (6)	31 (3)	38 (3)
	圏域内	海匝管内	7 (5)	11 (1)	15 (3)	17 (2)	15 (1)
		香取管内	3 (2)	7 (3)	10 (3)	7 (0)	11 (0)
	圏域外		0 (0)	5 (0)	1 (0)	7 (1)	12 (2)
割合（%）	合計		2.3	4.4	5.2	6.1	8.6
	圏域内	海匝管内	2.7	3.5	5.2	5.6	6.2
		香取管内	3.4	6.8	9.1	6.4	9.8
	圏域外		0.0	4.5	1.0	7.0	13.6

※（）内は、血栓溶解療法を併せて施行した患者数（再掲）

令和4年度　脳卒中予後データ





※　回復期病床、一般・地域包括ケア病床をまとめた実績の内訳を示したもの（回復期病床予後を利用）
※※　基本的には療養病床を持つ病院になるが、一部療養病床を持たない病院（急性期など）が含まれる。
グラフ中の数字は、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳と計が必ずしも一致しない。